

カワセミ

水べの飛ぶ宝石



カワセミは、川や池のそばでくらす、スズメくらいの小さな鳥です。せなかは宝石のように青くかがやき、おなかはオレンジ色です。その美しさから『飛ぶ宝石』とよばれています。ところが、この青色には、青い色のもとがふくまれています。羽の細かいつくりが光をはね返して、青く見えているのです。見る向きによって、色がかわって見えることもあります。

カワセミは、水に飛びこんで魚をとる名人です。水の中と外では、光の進み方がちがうので、ふつうなら魚の本当の場所がわかりにくいものです。――、カワセミの目は、空気中でも水中でも、すばやくピントを合わせられるとくべつなつくりです。だから、水面の上からでも、水の中の魚をしっかりねらえるのです。

カワセミのくちばしは、細く長く、先がとがっています。水に飛びこむとき、この形のおかげで、ほとんど水しぶきを立てずに、しずかに水に入れます。大きな水しぶきが立つと、その音で魚ににげられてしまうからです。

じつは、この『水を音もなく切る』くちばしの形は、新幹線にも生かされています。むかし、新幹線がトンネルに入るとき、大きな音が出てこまっていました。そこで、これをつくる人たちが、カワセミのくちばしをヒントに、車両の先の形を作り直したのです。すると、音はぐっと小さくなりました。美しいだけでなく、人の役にも立つ、それがカワセミなのです。

せんたく(1)

カワセミの羽が青く見えるのは、なぜですか？

選んで○をつけましょう。

- ① 青い色のもとがついているから
- ② 羽のつくりが光をはね返すから
- ③ 空の色がうつっているから

せんたく(2)

文しょうの()に入る言葉はどれですか？

選んで○をつけましょう。

- ① しかし
- ② だから
- ③ たとえば

きじゅつ(1)

カワセミの目は、どこにピントを合わせられますか？

きじゅつ(2)

くちばしの形は、何に生かされていますか？

漢字

漢字に直して書きましょう。

(1) びょういん

(2) とかい

(3) みずうみ

こたえ

カワセミ

せんたく

(1) ②
(2) ①

きじゅつ

(1) 空気中でも水中でも。

(2) 新幹線。

漢字

(1) 病院

(2) 都会

(3) 湖

ドリパパの国語テスト 国語テスト（小学３・４年生用）